

社会全体へのDXの浸透や、AI・量子技術等の進展により、急速に変化するサイバー空間をめぐるリスクに対応するため、「サイバーセキュリティ戦略」（特にサイバーセキュリティ2024における「特に強力に取り組む施策」）及び「サイバー安全保障分野での対応能力の向上に向けた提言」等を踏まえ、現行制度下において喫緊に取り組むべき事項について検討し、対処方針を示す。

サイバーセキュリティ2024 （特に強力に取り組む施策）

- 政府機関や重要インフラ等の対応能力の向上
- サプライチェーン・リスクへの対応強化
- DXを推進・支援する取組の強化
- 欧米主要国をはじめとする関係国との連携の一層の強化 等

サイバー安全保障分野での対応能力の向上に向けた提言（横断的課題等）

- 政府機関や重要インフラ事業者等の対策強化
- サイバーセキュリティ人材の育成・確保
- 中小企業や地域における対策強化
- 国産セキュリティ製品・サービスの供給強化
- 被害組織の負担軽減（報告様式一元化）等

検討事項（案）

- 政府機関・重要インフラ事業者等の対応能力の向上
- 社会全体のサイバーセキュリティ確保
 - 官民連携の強化
 - セキュアバイデザイン・セキュアバイデフォルト原則等を踏まえた対策強化
 - 中小企業のサイバーセキュリティ対策の促進
- 国際連携の一層の強化
- 横断的施策の推進
 - サイバーセキュリティ人材の育成・確保
 - 我が国のサイバーセキュリティ技術の研究開発・活用及び産業振興・育成（研究開発・社会実装の推進等）

年次計画への反映
中長期的課題の整理

今後のスケジュール

